

1. 令和元年度にぎわい交流館運営状況について

(1) 会議室等利用状況について (4~12月)

	R1 年度	H30 年度
会議室利用人数	19,614 人	23,411 人
利用件数	1,534 件	1,732 件
利用率 (1 件以上の利用があった割合)	午前 91.9 %	昼間 97.4%
	午後 96.3 %	
	夜間 80.7 %	夜間 80.4%
会議室利用団体数	149 団体	145 団体
1 件あたりの利用人数	12.8 人	13.5 人
印刷機の利用件数	424 件	480 件

利用人数・利用件数は前年度より減少しており、特に和室の減少幅が大きくなっています。一方で利用団体数は微増しています。

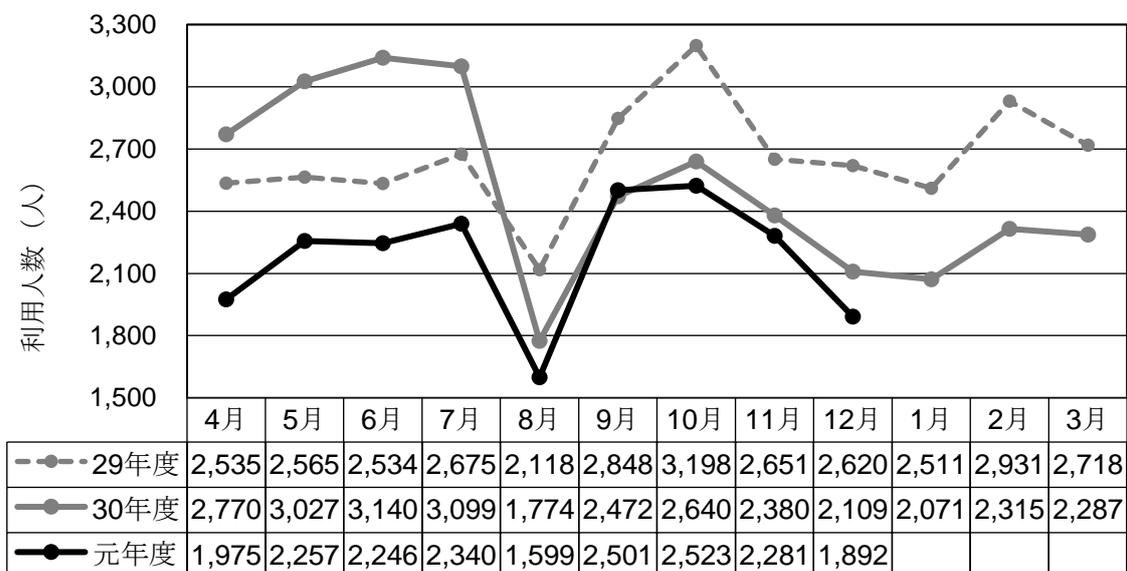
「3 か月先の利用予約ができるコマ数」の制限 (H30 年 7 月利用分から適用) を設けたことで、過密な状態を解消できたものと考えています。

		会議室 ABC	会議室 D	和室	合計
利用人数	R1 年度	11,127	4,988	3,499	19,614
	H30 年度	12,416	5,927	5,068	23,411
	前年比	89.6 %	84.2 %	69.0 %	83.8 %
利用件数	R1 年度	603	552	379	1,534
	H30 年度	656	622	454	1,732
	前年比	91.9 %	88.7 %	83.5 %	88.6 %

	会議室 ABC			会議室 D			和室		
	午前	午後	夜間	午前	午後	夜間	午前	午後	夜間
R1 年度	75.2%	88.9%	61.5%	73.7%	88.1%	53.0%	64.8%	76.7%	38.5%
H30 年度	89.7%			60.9%			93.7%		
	89.3%			59.0%			26.6%		

※午前 8:30~12:00 / 午後 12:00~17:15 / 夜間 17:15~22:00

会議室利用人数の推移



(2) 市民サロン運営状況について (4~12月)

ワンデイシェフによるランチ提供食数は 9,507 食 (前年比 1.8 %減少)、1 日当たりの平均は 45.3 食 (前年比 3.0 %増加) でした。8 月に「木祖村ランチフェア」、11 月に日進市 COOL CHOICE 事業に協力して「あったかだんらん鍋フェア」を実施しました。

マーケットは前年度と同様に 8 団体が定期利用しています (4 週間で 15 日)。

ランチコンサートの開催回数は 81 回 (月～金曜 58 回、土曜 23 回) で、前年度に比べて 5.2 % 増加しました。出演者は 35 組でした。

ギャラリーの開催回数は 18 回で、前年度に比べて 33.3 %減少しました。

	ワンデイシェフ				ランチコンサート		ギャラリー	
	食数		1 日平均					
	元年度	30 年度	元年度	30 年度	元年度	30 年度	元年度	30 年度
4 月	1,187	1,115	45.7	42.9	10	10	2	3
5 月	961	1,107	41.8	44.3	10	6	0	3
6 月	1,098	1,267	42.2	46.9	10	9	3	3
7 月	1,157	1,220	46.3	45.2	9	10	3	3
8 月	969	860	46.1	43.0	6	8	3	3
9 月	1,060	905	46.1	39.3	9	10	1	4
10 月	1,122	1,117	46.8	41.4	10	9	1	4
11 月	1,142	1,199	45.7	48.0	10	6	3	2
12 月	811	892	47.7	44.6	7	9	2	2
合計	9,507	9,682	45.3	44.0	81	77	18	27

(3) 登録団体数について (4~12月)

日進市市民活動団体登録の数は令和元年12月末時点で314団体であり、前年度末に比べて15件増加しました。

新規登録団体の主たる活動分野は「⑥学術・文化・芸術・スポーツ」(6団体)、次いで「③まちづくり」(4団体)が多くありました。

	新規登録	登録取消	差引増減	年度末団体数
平成27年度				261
平成28年度	44	4	+40	301
平成29年度	35	65	-30	271
平成30年度	39	11	+28	299
令和元年度 (4~12月)	17	2	+15	314

(4) 相談対応について (4~12月)

期間中に対応した相談件数は115件でした。前年同期(159件)と比べて27.6%減少しました。イベント等の事業に充てる時間が増えたことなどにより、スタッフから団体に声をかけて近況や困りごとを聞くことが少なくなったことが主な要因と考えています。

相談者の内訳は、「市民」が33.9%で最多でした。前年と比べると「行政・学校等」(学生も含む)の割合がやや上昇しています。

相談内容の内訳はこれまでと同様の傾向で、「施設利用・団体登録したい」が最多でした。「活動目的・事業内容について」がやや増えた一方で、「広報・集客について」は減少しました。

相談者			相談内容		
市民	39	33.9%	施設利用・団体登録したい	24	20.9%
登録団体	32	27.8%	講座や団体を探している	21	18.3%
未登録の団体	22	19.1%	団体について知りたい	19	16.5%
行政	19	16.5%	活動目的・事業内容について	13	11.3%
その他	3	2.6%	その他	38	33.0%

(5) 主な事業の実施報告・実施予定

【受託事業】

	事業名	日程	参加者数等
1	にしんわいわいフェスティバル実行委員会事務局	会議等は通年 令和元年7月6日(土) 開催	実行委員 18人 出展団体 119団体 来場者 3,700人 メディア掲載 2件
	市民活動団体等が主体的に関わるイベント開催のため、実行委員会(全体会・部会)の運営、出展団体の取りまとめ、経費精算をはじめとする諸業務を行った。 9月以降は、令和2年度の開催に向けた実行委員会を運営している(現在12人)。		
2	にぎわいNEWS 発行 (Vol. 18・19)	令和元年 5月 11月	発行部数 各3,500部 掲載団体 のべ11
	Vol. 18…めぐみの会、ハートフルサポートねっと他 織田英嗣さん Vol. 19…NPO 法人赤池サークル会 市民活動に関心を持ってもらうため、市民向けの情報紙を発行した。特集としてインタビュー記事を中心に構成。当初計画通り2号発行した。		
3	広報にしん記事制作	令和元年8月号	掲載団体 2
	市民活動・ESDに関心を持ってもらうため、市民向けの啓発記事を制作した。にしん図書館サポーターズ、アジア保健研修所を取り上げた。 (予定) 令和2年3月号 2団体を掲載		
4	木祖村フェア	令和元年8月11日(日) ~30日(金)	参加団体 9団体 提供食数 482食 メディア掲載 1件
	ワンデイシェフの利用促進、友好自治体 木祖村との交流のため、木祖村の夏野菜を使ったメニューを提供した。木祖村観光協会による産直フェア(8月22日)、加工食品の受託販売、ギャラリーでのポスター等展示も行った。当初計画通り開催した。		
5	NPO 読書会(第1回)	令和元年8月29日(木)	参加者 7人
	NPO・市民活動・まちづくりに関する図書を参加者間で分担して読み、内容の共有や意見交換を行う。課題図書『コミュニティデザインの時代』(山崎亮) ※第2回『SDGs 入門』を令和2年1月7日(火)に開催した。 (予定) 第3回を令和2年3月に開催予定。		

	事業名	日程	参加者数等
6	にしん市民まつり (にぎわい交流館ブース)	令和元年 11 月 17 日 (日)	出展団体 18 団体 来場者 のべ 1,600 人
	にしん市民まつりにおいて、団体が活動紹介したり、資金調達したりする機会とした。当初計画通り開催。		
7	ボランティア体験講座	令和 2 年 1 月 13 日 (月) ～3 月 7 日 (日) (予定)	
	市民活動団体と連携し、市民が気軽にボランティア体験できる機会とする。事前研修や事後のふり返し交流会も行う。5 団体が体験を受け入れ。		
8	志摩市フェア	令和 2 年 2 月 21 日 (金) (予定)	
	志摩市商工会による物産販売、ギャラリーを使った友好自治体の PR などを行う予定。		

【自主事業】

	事業名	日程	参加者数等
9	事業報告・説明会 & 団体交流会	令和元年 7 月 21 日 (日)	参加者 13 人
	登録団体に対して、にぎわい交流館の前年度の事業成果について報告するとともに、本年度の事業計画について説明し、情報共有・意見交換を行うとともに、団体同士の交流を図った。当初計画 (5 月) より時期を変更して開催。		
10	日進まちづくりゼミ (第 7 回～第 8 回)	令和元年 8 月 21 日 (水) 12 月 19 日 (木)	参加者 12 人 参加者 27 人
	市民活動をしている人や行政職員など、地域課題の解決に関わる人たちが、まちづくりについて共に行動していくための、出会いと学びと対話の場。		
	第 7 回「ゆたかに生きる権利をまもる『成年後見制度』ってなに？」 第 8 回「日進市の『生活支援コーディネーター』って何をしているの？」 (予定) 第 9 回を令和 2 年 3 月に開催予定。		
11	にぎわい夢まつり	令和元年 9 月 15 日 (日)	出展団体 13 団体 来場者 のべ 2,300 人
	「にしん夢まつり」に合わせて開催し、団体が活動紹介したり、資金調達したりする機会とした。当初計画通り開催した。		

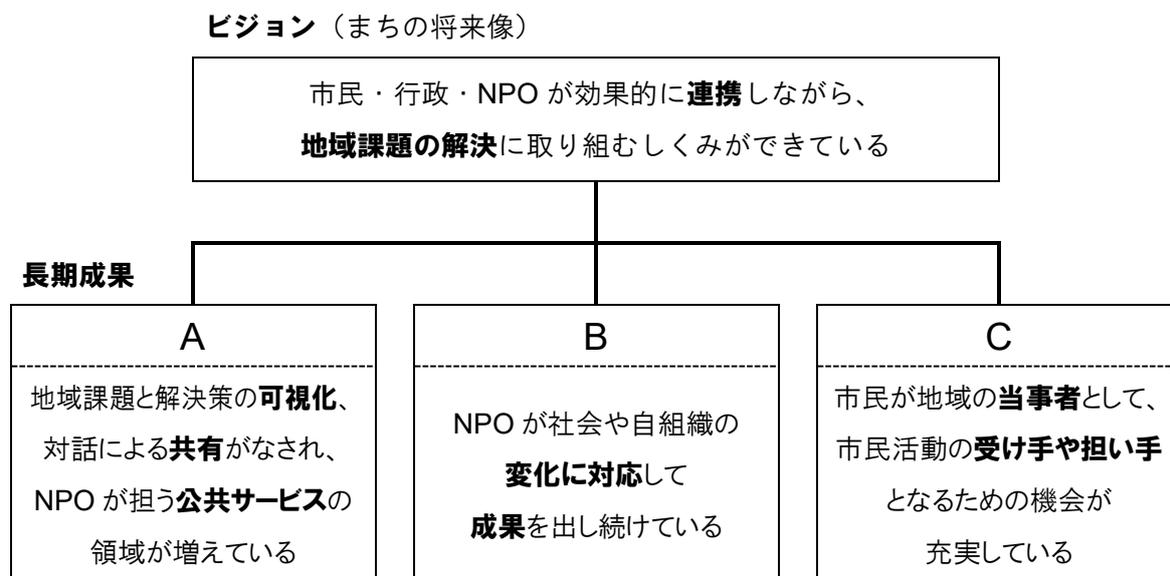
その他特記事項

- 中学校の職場体験受け入れ (4 中学校)
- 小牧市・こまき市民活動ネットワークの視察受け入れ

2. 令和2年度にぎわい交流館運営計画について

(1) ビジョンと長期成果

運営の指針として、平成29年度から掲げてきたビジョンと、その達成のためのロジックモデルを引き続き使用します（2021年度に見直しを行う予定）。



	長期成果の数値目標 (R2年度)	直近の実績	所感
A	行政とNPOの協働事業件数 ^{※1} 98件	75件 (H28) 89件 (H29) 87件 (H30)	新たな協働を創出する環境づくりに努めたい。実態に近い件数が把握されるようになった。
B	にぎわい交流館登録団体数 300団体 ^{※2}	314団体 (R1年12月)	市内の市民活動団体が堅調に増えつつある。
C	ボランティア・NPO活動への参加経験のある市民の割合 ^{※3} 20%	13.9% (H26) 14.4% (H28) 14.7% (H30)	市民が参加しやすくなる情報発信や機会づくりを重ねたい。

※1 第5次日進市総合計画より。

※2 団体登録更新時（3年ごと）の減少などを見込んだ目標値。

※3 第5次日進市総合計画より。実績は2年ごとの市民意識調査の結果。

(2) 受託事業および自主事業

分類	事業名	受託／自主
施設管理・ 利用許可等	会議室、印刷機、団体専用事務室等の利用許可、団体登録 調理室・ワンデイシェフ、マーケット ギャラリー、ランチコンサート 施設管理（清掃、警備など） 人権・男女共同参画情報スペースの管理	受託事業
	(1) 休日の喫茶提供 市民サロンの夜間貸出	自主事業
相談窓口	(2) 相談対応 専門家への相談コーディネート	受託事業
	事務支援事業（消耗品販売、データ印刷等）	自主事業
情報収集 および発信	(3) 市民活動、大学・学生団体に関するチラシ等の受付、配架 団体書庫、図書等収集・配架 にぎわい NEWS（2回）、広報にしん記事（2回） ウェブサイト、メールマガジン イベントカレンダー（月1回） チラシ配送（市民自治活動奨励事業認定制度） キャラクター「わいわい」を利用した PR	受託事業
	SNS 運用（Facebook ページ、Twitter）	自主事業
講座・ イベント等	(4) わいわいフェスティバル実行委員会事務局 (5) 広報講座（団体向け講座） (6) ファシリテーション講座（市民向け講座） 友好自治体フェア（ランチフェア・産直フェア等） にしん市民まつり（にぎわい交流館ブース）	受託事業
	(7) にぎわい夢まつり 事業説明会	自主事業
会議等への参 加、関係機関 との連携	にしん観光まちづくり協会理事会 日進市ボランティアセンター運営委員会（社会福祉協議会） 子どもの支援を考える会（社会福祉協議会） 日進市ボランティアセンター（社会福祉協議会）、日進市社会 福祉協議会 CSW、市民協働課地域支援係、大学のボランティ アセンター等との定期または不定期の情報交換	受託事業

※番号のある事業は、次項に説明があります。

	事業名	実施回数等	受託／自主	対応する長期成果
(1)	市民サロンの夜間貸出	通年	自主事業	B
	市民活動団体がイベント等の会場として市民サロンを利用できるよう、ルール整備する。団体からのニーズに応えるとともに、施設の有効活用を図る。継続。			
(2)	専門家への相談コーディネート	通年	受託事業	B
	団体経営や会計・労務・ファンドレイジングなどの専門的な相談について、専門家へ相談しやすい環境を整える。定期相談（上期・下期に各1日）とオンデマンド相談（申込に応じて手配）。見直し。			
(3)	にぎわい NEWS 広報にっしん記事	にぎわい NEWS 2回 広報にっしん記事 2回	受託事業	C
	市民活動・ボランティアに関心を持ってもらい、活動への参加やにぎわい交流館への来館を呼びかけるため、市民向けの情報紙や記事を制作する。子育て世代や定年退職世代を主なターゲットとした記事を制作する。継続。			
(4)	わいわいフェスティバル 実行委員会事務局	通年（7月4日開催）	受託事業	C
	市民主体のイベント運営のための事務を行う。会議の補助、出展団体募集の受付、パンフレット作成、市との連絡調整など。市民活動団体同士や、大学生や地縁型の団体との交流・連携などを図る。また、市民へのSDGsや市民活動の啓発を行う。継続。			
(5)	広報講座（団体向け講座）	1回程度	受託事業	B
	チラシ・パンフレット制作などの広報に関する講座・ワークショップ。H30年度事業をもとに見直し。			
(6)	ファシリテーション講座 （市民向け講座）	1回程度	受託事業	C
	家庭や社会の課題を解決するための対等で建設的な対話の技術を学ぶ講座。新規。			
(7)	事業説明会	1回（上期）	自主事業	なし
	にぎわい交流館の運営方針や事業計画について説明し、参加者と意見交換する。参加者同士の交流や、市民が運営に参画することにつなげる。継続。			